

開講期	2026年度後期			単位数	1.0単位
科目[授業]名	3444 子どもとことば [2]			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	月曜1限				
教室	B201教室				
代表教員	山口 理沙				
担当教員	山口 理沙				
テーマと到達目標	「ことば」とはなにか、また、子どもがことばを獲得するとはどのようなことなのか考えることから始める。保育者はどのようにこのことばの育ちを援助することができるのか、また、保育者が果たしうる役割についても考えていく。実際に絵本や紙芝居等の児童文化財を通して、子どもがふれることばについて学ぶ。				
概要	当該科目では、領域「言葉」の指導の基盤となる幼児が豊かな言葉や表現を身に付け想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を身につける。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション：授業概要と評価基準、授業において求められること				対面授業
第2回	子どものことば：ことばの獲得の発達過程				対面授業
第3回	保育者のことば：働きかけとその効果				対面授業
第4回	領域「言葉」：ねらいと内容及び評価				対面授業
第5回	遊びを通じたことばの獲得（1）：発達に応じたことば				対面授業
第6回	遊びを通じたことばの獲得（2）：ことばの遊び				対面授業
第7回	絵を読む力、テキストを読む力				対面授業
第8回	ことばと児童文化財（1）：絵本、紙芝居				対面授業
第9回	ことばと児童文化財（2）：ペープサート、パネルシアター、エプロンシアター、人形劇				対面授業
第10回	ことばと児童文化財（3）：わらべうたほか、伝承遊び				対面授業
第11回	ことばと児童文化財（4）：劇遊び				対面授業
第12回	児童文化財の実践と評価（1）：児童文化財の理解				対面授業
第13回	児童文化財の実践と評価（2）：児童文化の評価				対面授業
第14回	ことばにまつわる教育・保育時事：現状と課題				対面授業
第15回	まとめ：ことばからみた保育				対面授業
成績評価の基準	毎授業の課題及び授業への取り組み状況60%、学期末レポート40%				
履修にあたっての留意事項	様々な児童文化財を扱う予定であり、学生自らも調べて持参してもらうことがある。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	児童文化財の理解を深めるため実際に政策をすることも想定している。そのため、裁縫道具、絵の具、マーカー、色鉛筆等を持参する必要がある。		
教科書	『日曜日のはじめちゃん』 クリハラタカシ 著 福音館書店	教科書(ISBN)	978-4-8340-8687-4
参考文献	『幼稚園教育要領解説』文部科学省 最新版 『保育所保育指針解説』厚生労働省 最新版 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省 最新版	参考文献(ISBN)	特に指定せず。適宜、関連資料を提示する。

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--